

## 第1章

# 横手市学童保育施設整備計画について

## 第1節 整備計画の策定の考え方

本計画は、「第2期横手市子ども・子育て支援事業計画」中の「基本目標Ⅰ子ども子育て支援サービスの充実」内「2 地域子ども・子育て支援事業の充実(2)放課後児童健全育成事業」における利用定員を確保するための施設整備を実施する個別計画とします。

横手市における旧8地域の特性がそれぞれにあることから、大区分を旧8地域、小区分を各小学校区に細分化して、学童保育の需要数(利用見込み)を算出のうえ、整備します。

## 第2節 整備の手法

各地域の小学校区内に1～2箇所を基本とします。

学童保育の需要数(利用見込み)が受入可能数を大きく下回り、今後需要数の増加が見込めない場合、定員や配置の見直しを行います。

整備する際の基本的事項として図のとおり、人員と施設の両立を前提とします。



人員と施設の両立を図るため、本計画は財政計画も兼ねるものとしています。

## 第3節 整備の期間

整備の期間は令和6年度から令和10年度までの5カ年とします。ただし、社会情勢の変化等により、必要に応じて適宜見直しを行うものとします。

## (1) 放課後児童クラブの設置状況

放課後児童クラブの設置状況は、27 か所となっています。

## 【放課後児童クラブの設置状況】

(令和5年8月現在) (人)

地域	クラブ名	実施場所	登録児童数	定員	支援員数
横手	学童保育「みなみ」	横手南小学校	19	20	2
	学童保育「みなみⅡ」		20	20	2
	学童保育「みなみⅣ」		20	25	3
	学童保育「わんぱく」	上内町6-39	78	80	6
	学童保育「てらこや明照」	九品寺 集会場	40	40	5
	学童保育「あさくら」	朝倉小学校 敷地内専用施設	49	60	5
	学童保育「あさくらⅢ」	朝倉小学校	21	40	3
	学童保育「あさくらキッズ」	あさくら館	33	40	4
	学童保育「ピノキオ」	朝日が丘児童センター	19	32	2
	学童保育「あさひ」	旭ふれあい館	55	60	5
	学童保育「あさひⅢ」	旭小学校	16	25	3
	学童保育「さかえ」	さかえ館	19	40	3
	げんキッズよこてきた	横手北小学校 敷地内専用施設	88	80	7
	学童保育「金沢よこてきた」	金沢孔城館	26	40	3
	学童保育「卸町よこてきた」	(株)アートピアササキ 社屋2階	46	50	5
	学童保育「卸センターよこてきた」	協同組合卸センター	10	10	2
	増田	学童保育「すまいるキッズ」	増田町総合子育て支援施設	28	40
学童保育「ますだキッズ」		増田小学校	35	50	4
平鹿	浅舞児童クラブⅠ	浅舞小学校	46	40	4
	浅舞児童クラブⅡ		46	40	4
	醍醐児童クラブⅠ	醍醐小学校	29	30	4
	醍醐児童クラブⅡ		33	25	4
	児童クラブ「どんぐりっこA」	吉田小学校	34	30	3
	児童クラブ「どんぐりっこB」		32	30	3
雄物川	にこにこキッズ雄物川Ⅰ	雄物川小学校敷地内専用施設	38	40	3
	にこにこキッズ雄物川Ⅱ		39	40	3
	にこにこキッズ雄物川Ⅲ	雄物川庁舎敷地内専用施設	65	50	6
大森	学童保育「おおもり」	大森小学校敷地内専用施設	37	40	7
	学童保育「ふれあい」	子どもと老人のふれあいセンター	35	30	6
十文字	学童保育「十文字なかよし1」	十文字小学校向かい専用施設	34	30	3
	学童保育「十文字なかよし2」		34	30	3
	学童保育「十文字なかよし3-1」		35	30	3
	学童保育「十文字なかよし3-2」		35	30	3

	学童保育「十文字なかよし4」	旧植田保育所	28	40	3
山内	なかよしクラブ	山内小学校	33	40	3
大雄	大雄子どもセンターⅠ	大雄小学校敷地内専用施設	23	34	3
	大雄子どもセンターⅡ		30	31	3
		計	1,308	1,412	138

## (2) 放課後児童健全育成事業

保護者の労働などにより、放課後や週末に家庭での児童の生活が困難な場合に、保護者に代わり児童の生活や遊びの指導を行う事業です。

近年の利用状況を鑑みると、5・6年生の利用について一定程度の需要が全市的に見受けられます。また、核家族化等家族形態の変化や共働き、同居家族の高齢化等を背景として、学童利用率は上昇傾向にあります。総じて、少子高齢化の影響で年少人口（分母）が減っていますが、保護者の共働き等により学童保育の利用者（分子）は増えており、この傾向は数年間継続するものと見込んでいます。

### ■ 利用見込みと利用定員 ■

横手地域		令和5 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		138	141	153	156	156	156
箇所数		27	28	30	31	31	31
利用定員数	横手	662	662	717	797	797	797
	増田	90	90	90	90	90	90
	平鹿	195	205	225	225	225	225
	雄物川	130	152	152	152	152	152
	大森	70	70	70	70	70	70
	十文字	160	160	200	200	200	200
	山内	40	40	40	40	40	40
	大雄	65	65	65	65	65	65
	利用定員数計（A）		1,412	1,444	1,559	1,639	1,639
利用見込み	①1～4年生	1,165	1,231	1,220	1,252	1,255	1,215
	②5～6年生	143	158	198	223	193	179
	①+②（B）	1,308	1,389	1,418	1,475	1,448	1,394
③過不足（A－B）		104	55	141	164	191	245

（令和5年8月現在）

- 横手市は現在、14小学校区で学童保育を実施しています。市全体の保育の受け皿として定員数は利用見込みに対して確保できています。
- 各地域別にみると近年は横手南小学校区、横手北小学校区、雄物川小学校区及び十文字小学校区で待機児童が発生しています。
- 令和6年度は雄物川小学校区に1箇所、新たな学童施設を開所する計画です。

- 令和7年度は、横手南小学校区の学童施設を令和6年度に機能移転を予定している現横手図書館を活用することで定員数の拡充をはかります。また、新しく浅舞小学校区に1箇所、十文字小学校区に1箇所、新たな学童施設の開所を計画しています。
- 令和8年度は、横手北小学校区に1箇所を新しく開所する計画です。
- 保育の受け皿として施設の整備だけではなく、支援員の高齢化も課題であり、支援員の質や必要量を確保するため、人材確保方策も検討します。
- 登録児童の利用形態は、児童によって平日利用、土曜利用、長期休暇のみの利用などにより毎日定員に達するとは限りません。そのため、一日あたりの利用児童数に応じ、登録児童の受け入れ調整を検討します。
- それでもなお定員超過が生じる施設などについては、学校の近隣でかつ遊び場のある施設を確保するよう努力するものとします。

今後も、需要動向を踏まえながら必要に応じて利用定員を見直ししていきます。

【全体整備計画】

地域	小学校区	方向性	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
横手	横手南	移設による定員確保	旧横手図書館改修・移設	開所 定員+55 備品購入			
	横手北	新設 1箇所	実施設計	建築工事	開所 定員+80		
平鹿	浅舞	新設 1箇所	開所に向けた改修	開所 定員+20			
	醍醐	利用定員の拡充	定員+10				
雄物川	雄物川	新設 1箇所	開所 定員+22				
十文字	十文字	新設 1箇所	法人建設 支援	開所 定員+40			

## 第2章

# 各小学校区における学童保育施設の 現状と今後の方策

「横手南小学校区」

■ 利用見込み ■

横手南小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		18	18	23	23	23	23
箇所数		3	3	3	3	3	3
利用 定員 数	学童保育「みなみⅠ」	20	20	40	40	40	40
	学童保育「みなみⅡ」	20	20	40	40	40	40
	学童保育「みなみⅣ」	25	25	40	40	40	40
	学童保育「わんぱく」	80	80	80	80	80	80
	学童保育「てらこや明照」	40	40	40	40	40	40
	利用定員数計（A）	185	185	240	240	240	240
利用 見 込 み	① 1～4年生	151	167	210	219	229	223
	② 5～6年生	26	13	29	21	11	14
	①+②（B）	177	180	239	240	240	237
③ 過不足（A－B）		8	5	1	0	0	3

● 現状 ●

- 学童施設が3箇所あり、うち低学年を対象とした学童保育「みなみⅠ・Ⅱ・Ⅳ」は、合計定員数が65人で運営しています。近年は、待機児童が発生する年がありました。
- 学童保育「みなみⅠ・Ⅱ・Ⅳ」は専用区画面積が狭隘であるため、定員数を超えての受け入れは困難な現状です。
- 学童保育「わんぱく」と学童保育「てらこや明照」は合計定員数が120人で運営しています。

◇ 方策 ◇

- ◇ 令和6年度に横手図書館が横手駅前へ機能移転することをきっかけに、学童保育の良好な環境提供と定員の増加を目的として、現横手図書館を学童施設として活用する計画を進めています。
- ◇ 専用区画面積が狭隘な「みなみⅠ・Ⅱ・Ⅳ」を横手図書館へ移行することで課題であった面積が広くなり、定員数を120人までとすることが可能となります。

「朝倉小学校区」

■ 利用見込み ■

朝倉小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		12	12	12	12	12	12
箇所数		3	3	3	3	3	3
利用 定員 数	学童保育「あさくら」	60	60	60	60	60	60
	学童保育「あさくらⅢ」	40	40	40	40	40	40
	学童保育「あさくらキッズ」	40	40	40	40	40	40
	利用定員数計（A）	140	140	140	140	140	140
利用 見込 み	① 1～4年生	84	91	90	85	89	90
	② 5～6年生	19	13	24	30	25	18
	①+②（B）	103	104	114	115	114	108
③ 過不足（A－B）		37	36	26	25	26	32

● 現状 ●

- 学童施設が3箇所あり、定員数を140人で運営しています。これまで待機児童は発生しておりません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある3箇所の合計定員数140人内に収まるものと推測しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

## 「旭小学校区」

### ■ 利用見込み ■

旭小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		10	10	10	10	10	10
箇所数		3	3	3	3	3	3
利用 定員 数	学童保育「ピノキオ」	32	32	32	32	32	32
	学童保育「あさひ」	60	60	60	60	60	60
	学童保育「あさひⅢ」	25	25	25	25	25	25
	利用定員数計（A）	117	117	117	117	117	117
利用 見込 み	① 1～4年生	86	98	95	99	99	108
	② 5～6年生	7	18	9	18	12	7
	①+②（B）	93	116	104	117	111	115
③ 過不足（A－B）		24	1	13	0	6	2

### ● 現状 ●

- 学童施設が3箇所あり、定員数を117人で運営しています。これまで待機児童は発生しておりません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある3箇所の定員数117人内に収まるものと推測しています。

### ◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

### 「栄小学校区」

#### ■ 利用見込み ■

栄小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		3	3	3	3	3	3
箇所数		1	1	1	1	1	1
利用 定員 数	学童保育「さかえ」	40	40	40	40	40	40
	利用定員数計（A）	40	40	40	40	40	40
利用 見込 み	① 1～4年生	17	23	23	26	27	16
	② 5～6年生	4	3	5	4	2	6
	①+②（B）	21	26	28	30	29	22
③ 過不足（A－B）		19	14	12	10	11	18

#### ● 現状 ●

- 学童施設が1箇所あり、定員数を40人で運営しています。これまで待機児童は発生しておりません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある1箇所の定員数40人内に収まるものと推測しています。

#### ◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

### 「横手北小学校区」

#### ■ 利用見込み ■

横手北小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		17	17	17	21	21	21
箇所数		4	4	4	5	5	5
利用 定員 数	げんキッズよこてきた	80	80	80	80	80	80
	学童保育「金沢よこてきた」	40	40	40	40	40	40
	学童保育「卸町よこてきた」	50	50	50	50	50	50
	学童保育「卸センターよこてきた」	10	10	10	10	10	10
	新設				80	80	80
	利用定員数計（A）	180	180	180	260	260	260
利用 見 込 み	① 1～4年生	164	168	164	222	222	233
	② 5～6年生	9	11	11	31	30	20
	①+②（B）	173	179	175	253	252	253
③ 過不足（A－B）		7	1	5	7	8	7

#### ● 現状 ●

- 学童施設が4箇所あり、うち低学年を対象とした学童保育「げんキッズよこてきた」は、定員数が80人で運営しています。近年は、待機児童が発生する年がありました。
- 民間企業の1室を借り受けて運営している2施設に学童保育「卸町よこてきた」（定員50人）と学童保育「卸センターよこてきた」（定員10人）があります。
- さらに、横手北小学校から5km以上離れて運営している学童保育「金沢よこてきた」（定員40人）があります。
- 当該小学校区は宅地造成計画地のため、今後地区内児童数は増加傾向と推計しています。そのため、利用見込みが令和8年度以降、利用定員180人を超える見込みです。

#### ◇ 方策 ◇

- ☆ 令和7年度に定員80人規模の学童施設を新設し、令和8年度に供用開始することで、低学年、特に1年生の定員数を確保し、利用見込みの増加に対応する計画です。
- ☆ また、学童保育「金沢よこてきた」は居住方面地域の児童数は減少傾向にあることから、児童のみならず、保護者の送迎も勘案した利便性の確保を検討する必要があると考えています。

「増田小学校区」

■ 利用見込み ■

増田小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		7	7	7	7	7	7
箇所数		2	2	2	2	2	2
利用 定員 数	学童保育「すまいるキッズ」	40	40	40	40	40	40
	学童保育「ますだキッズ」	50	50	50	50	50	50
	利用定員数計（A）	90	90	90	90	90	90
利用 見 込 み	① 1～4年生	50	57	55	61	65	49
	② 5～6年生	13	12	12	12	12	12
	①+②（B）	63	69	67	73	77	61
③ 過不足（A-B）		27	21	23	17	13	29

● 現状 ●

- 学童施設が2箇所あり、定員数を90人で運営しています。これまで待機児童は発生しておりません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 近年の利用状況を鑑みると、5・6年生の利用は毎年一定程度の需要が見込まれるほか、1年生の学童登録率は上昇傾向にあります。

◇ 方策 ◇

- ◇ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

「浅舞小学校区」

■ 利用見込み ■

浅舞小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		8	8	12	12	12	12
箇所数		1	1	2	2	2	2
利用 定員 数	浅舞児童クラブⅠ	40	40	40	40	40	40
	浅舞児童クラブⅡ	40	40	40	40	40	40
	新設			20	20	20	20
	利用定員数計（A）	80	80	100	100	100	100
利用 見込 み	① 1～4年生	92	90	83	80	71	62
	② 5～6年生	0	17	17	18	18	16
	①+②（B）	92	107	100	98	89	78
	③ 過不足（A－B）	▲12	▲27	0	2	11	22

● 現状 ●

- 浅舞小学校区では、浅舞小学校内の2教室を活用して学童保育を運営しています。
- 令和5年度利用実績は定員数を超えて受け入れることで、運営しています。
- 小学校内の教室を活用していることから、定員を増やすため、専用区画面積を増やすことは困難な状況にあります。

◇ 方策 ◇

- ☆ 令和7年度に公共施設である、ゆとり館の空部屋を活用した学童施設を新たに開所して、利用ニーズに応じていきます。

「吉田小学校区」

■ 利用見込み ■

吉田小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		6	6	6	6	6	6
箇所数		1	1	1	1	1	1
利用 定員 数	児童クラブ「どんぐりっこA」	30	30	30	30	30	30
	児童クラブ「どんぐりっこB」	30	30	30	30	30	30
	利用定員数計（A）	60	60	60	60	60	60
利用 見込 み	① 1～4年生	55	54	51	49	45	35
	② 5～6年生	11	10	9	9	9	9
	①+②（B）	66	64	60	58	54	44
③ 過不足（A-B）		▲6	▲4	0	2	6	16

● 現状 ●

- 吉田小学校区では、吉田小学校内の2教室を活用して学童保育を運営しています。
- 令和5年度利用実績は定員数を超えて受け入れることで、運営しています。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

「醍醐小学校区」

■ 利用見込み ■

醍醐小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		8	8	8	8	8	8
箇所数		1	1	1	1	1	1
利用 定員 数	醍醐児童クラブⅠ	30	35	35	35	35	35
	醍醐児童クラブⅡ	25	30	30	30	30	30
	利用定員数計（A）	55	65	65	65	65	65
利用 見 込 み	①1～4年生	52	54	51	51	50	48
	②5～6年生	9	10	9	9	9	7
	①+②（B）	61	64	60	60	59	55
③過不足（A－B）		▲6	1	5	5	6	10

● 現状 ●

- 醍醐小学校区では、醍醐小学校内の2教室を活用して学童保育を運営しています。
- 令和5年度利用実績は定員数を超えて受け入れることで、運営しています。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 令和6年度より定員を10人増とし、利用ニーズに応じていきます。

「雄物川小学校区」

■ 利用見込み ■

雄物川小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		12	15	15	15	15	15
箇所数		2	3	3	3	3	3
利用 定員 数	にこにこキッズ雄物川Ⅰ	40	40	40	40	40	40
	にこにこキッズ雄物川Ⅱ	40	40	40	40	40	40
	にこにこキッズ雄物川Ⅲ	50	50	50	50	50	50
	新設		22	22	22	22	22
	利用定員数計（A）	130	152	152	152	152	152
利用 見 込 み	① 1～4年生	127	116	109	92	85	79
	② 5～6年生	11	22	19	20	18	15
	①+②（B）	138	138	128	118	103	94
③ 過不足（A－B）		▲8	14	24	40	49	58

● 現状 ●

- 学童施設が2箇所あり、うち1・2年生を対象とした学童保育「にこにこキッズ雄物川Ⅰ・Ⅱ」は、定員数を80人で運営しています。3～6年生を対象とした学童保育「にこにこキッズ雄物川Ⅲ」は定員数が50人で運営しています。
- 令和5年度利用実績は定員数を超えて受け入れることで、運営しています。
- 現状の2箇所は専用施設であるものの、専用区画面積を増やすことは困難であり、定員数を増やすことも困難です。

◇ 方策 ◇

- ☆ 令和6年度に公共施設である、雄物川コミュニティセンターの空部屋を活用した学童施設を新たに開所して、利用ニーズに応じていきます。

「大森小学校区」

■ 利用見込み ■

大森小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		13	13	13	13	13	13
箇所数		2	2	2	2	2	2
利用 定員 数	学童保育「おおもり」	40	40	40	40	40	40
	学童保育「ふれあい」	30	30	30	30	30	30
	利用定員数計（A）	70	70	70	70	70	70
利用 見 込 み	① 1～4年生	48	49	49	49	52	48
	② 5～6年生	21	11	11	11	5	10
	①+②（B）	69	60	60	60	57	58
③ 過不足（A－B）		1	10	10	10	13	12

● 現状 ●

- 学童施設が2箇所あり、定員数を70人で運営しています。これまで待機児童が発生したことはありません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある2箇所の定員数70人内に収まるものと推測しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

「十文字小学校区」

■ 利用見込み ■

十文字小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		15	15	18	18	18	18
箇所数		2	2	3	3	3	3
利用定員数	学童保育「十文字なかよし1」	30	30	30	30	30	30
	学童保育「十文字なかよし2」	30	30	30	30	30	30
	学童保育「十文字なかよし3-1」	30	30	30	30	30	30
	学童保育「十文字なかよし3-2」	30	30	30	30	30	30
	学童保育「十文字なかよし4」	40	40	40	40	40	40
	新設			40	40	40	40
	利用定員数計(A)	160	160	200	200	200	200
利用見込み	① 1～4年生	166	187	169	154	161	167
	② 5～6年生	0	0	30	30	30	30
	①+②(B)	166	187	199	184	191	197
③ 過不足(A-B)		▲6	▲27	1	16	9	3

● 現状 ●

- 学童施設が2箇所あり、うち十文字小学校前の学童保育「十文字なかよし1・2・3」は、定員数が120人で運営しています。令和3年度より定員を超えて受け入れしていますが、毎年待機児童が発生しています。
- また、十文字小学校から4km以上離れて運営している学童保育「十文字なかよし4」（定員40人）があります。
- 小学校近辺は宅地造成が活発であり、今後地区内児童数は増加傾向と推計しています。加えて、隣接する市からの子育て世帯の流入も予想されることから、令和5年度のままでの利用定員160人だと、利用見込みが令和6年度以降に利用定員を超える見込みです。

◇ 方策 ◇

- ☆ 令和6年度に民間企業による定員40人規模の学童施設建設を支援し、令和7年度に供用開始することで、人数超過状態も解消し、高学年の受入が可能となる見込みです。

「山内小学校区」

■ 利用見込み ■

山内小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		3	3	3	3	3	3
箇所数		1	1	1	1	1	1
利用 定員 数	なかよしクラブ	40	40	40	40	40	40
	利用定員数計（A）	40	40	40	40	40	40
利用 見 込 み	① 1～4年生	31	35	28	24	23	21
	② 5～6年生	2	2	2	2	2	2
	①+②（B）	33	37	30	26	25	23
③ 過不足（A－B）		7	3	10	14	15	17

● 現状 ●

- 学童施設が1箇所あり、定員数を40人で運営しています。これまで待機児童が発生したことはありません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある1箇所の定員数40人内に収まるものと推測しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。

「大雄小学校区」

■ 利用見込み ■

大雄小学校区		令和5年 年度実績	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度
支援員・補助員の数		6	6	6	6	6	6
箇所数		1	1	1	1	1	1
利用 定員 数	大雄子どもセンターⅠ	34	34	34	34	34	34
	大雄子どもセンターⅡ	31	31	31	31	31	31
	利用定員数計（A）	65	65	65	65	65	65
利用 見込 み	① 1～4年生	42	42	43	41	37	36
	② 5～6年生	11	14	11	8	10	13
	①+②（B）	53	56	54	49	47	49
③ 過不足（A－B）		12	9	11	16	18	16

● 現状 ●

- 学童施設が1箇所あり、定員数を65人で運営しています。これまで待機児童が発生したことはありません。
- 今後も小学校児童数に大きな増減はなく、緩やかな減少を伴うと推計しています。
- 利用見込みは、当該小学校区内にある1箇所の定員数65人内に収まるものと推測しています。

◇ 方策 ◇

- ☆ 今後数年間の学童規模は現状維持とし、利用ニーズに応じていきます。